

平成20年度 決算報告書

国立大学法人大分大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,232	8,936	△ 295	(注1)
施設整備費補助金	940	963	23	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	12	189	177	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	53	53	—	
自己収入	14,242	16,547	2,305	
授業料、入学料及び検定料収入	3,410	3,388	△ 21	(注4)
附属病院収入	10,746	13,005	2,259	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	86	153	67	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	806	1,192	387	(注7)
引当金取崩	—	336	336	(注8)
長期借入金	766	730	△ 35	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	67	40	△ 27	(注10)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	320	272	△ 47	(注11)
計	26,438	29,259	2,822	
支出				
業務費	19,702	21,049	1,347	(注12)
教育研究経費	7,852	7,453	△ 398	
診療経費	11,850	13,595	1,746	
一般管理費	3,374	3,151	△ 222	(注13)
施設整備費	1,759	1,746	△ 12	(注14)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	12	189	177	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	806	1,197	392	(注16)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	785	774	△ 10	(注17)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	26,438	28,108	1,671	
収入-支出	—	1,151	1,151	

端数処理の関係で集計額は必ずしも一致しておりません。

なお、予算額は百万円未満の端数を四捨五入、決算額は百万円未満の端数を切捨し表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当に係る前期までの未収益化分を予算計上したところであるが、実際には収益化額が少なかつたため、予算金額に比して決算金額が295,975,261円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、国の補正予算において事業費が追加で措置されたため、予算金額に比して決算金額が23,100,000円多額となっています。
- (注3) 補助金の受入れがあつたため予算金額に比して決算金額が177,008,779円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者及び受験者の減少等により、予算額に比して決算金額が21,273,720円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、7対1看護の実施、手術件数の増加、ICUの増床、救急救命センターの整備等により、予算金額に比して決算金額が2,259,653,761円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、資金運用による利息収入の増加及び院内保育所に係る保育料収入等のため、予算金額に比して決算金額が67,031,380円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究・共同研究の増加及び寄附金等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が387,016,922円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、賞与及び退職金について引当金を取り崩して使用したため、予算金額に比して決算金額が336,114,019円多額となっています。
- (注9) 長期借入金については、契約額が予定よりも廉価となつたため、予算金額に比して決算金額が35,916,000円少額となっています。

- (注10) 承継剰余金については、賠償金の支払が少なかったため、予算金額に比して決算金額が 27,000,000円少額となっています。
- (注11) 目的積立金取崩については、平成21年3月に更新予定としていた設備を、平成21年9月に変更した等のため予算金額に比して決算金額が47,380,549円少額となっています。
- (注12) 業務費については、教育研究経費は退職金に係る不用額の発生及び経費の節減に努めたため、診療経費は(注5)に示した理由に伴う人件費・医薬品・医療材料費等の増のため、予算金額に比して決算金額が1,347,661,287円多額となっています。
- (注13) 一般管理費については、業務委託等に伴う人件費の削減及び経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が222,419,492円少額となっています。
- (注14) (注2)及び(注9)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 12,816,000円少額となっています。
- (注15) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が177,008,779円多額となっています。
- (注16) (注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が392,083,614円多額となっています。なお、支出額のうち527,925,527円は前年度以前における収入に対応する支出額となっています。
- (注17) 償還金が予定よりも少額となったため、予算金額に比して決算金額が10,316,195円少額となっています。